

おたがいさまミーティング 令和8年3月31日 開催

アンケートから見た地域の課題と支援体制

地域のみなさんから寄せられたアンケートをもとに
私たちのまちが抱える課題や、相談できる窓口
今後の連携の方向性をまとめました。

地域が抱える主な課題

1. 防災・防犯体制の強化
災害への備えや防犯環境の整備が求められています。
防犯灯・カメラの設置、常夜灯の交換など、安心して暮らせる環境づくりが課題です。
2. 地域のつながり不足
近所づきあいや町内会でのコミュニケーションが減少し、声かけ・相談の機会が少なくなっています。
「向こう三軒両隣」の関係が薄れつつあります。
3. 高齢者・子育て世帯・孤立者への支援
見守りが必要な高齢者、子育て家庭、地域で孤立しがちな方への支援が求められています。
避難行動要支援者へのサポートも重要です。
4. 日常生活の困りごと
ゴミ出し、買い物、体調不良時の対応、救急車要請の判断など、生活の中で
の小さな困りごとに寄り添う支援が必要です。
空き地管理や猫問題などの生活トラブルも挙がっています。
5. 地域活動の担い手不足
町内会加入率の低下、役員のなり手不足、ボランティアの高齢化など、地域
活動を支える人材が不足しています。
6. 精神的な不安への対応
希死念慮を含む精神的な不安を抱える方への声かけや、連絡が取りにくい方
の見守り体制が課題です。
7. 町内会運営の課題
活動への関心低下、活動費不足、個人に負担が偏りがちな運営体制の見直し
が必要です。

地域の相談窓口（支援資源）

地域には、さまざまな相談先があります。

民生委員
町内会役員・町内会長
地域包括支援センター
行政（高齢者支援課・健康推進課・健康福祉課など）
社会福祉協議会（市社協・県社協）
医師・医師会
ボランティア団体
交流館・福祉事業所
PTA・子ども会
保健所
老人会
隣接町内会
学区の企業・まちづくり推進委員会
福祉を高める会
家族・身内
気軽に話せる身近な人

連携の方向性

地域全体で支え合うために、次のような連携が重要です。
小さな「気づき」を共有し、支援につなげる
住民・行政・社協・専門職など、多様な立場が協力できる場づくり
必要な支援を多職種で検討し、適切な窓口へつなぐ
相談先や制度を地域で共有し、利用しやすい環境を整える
福祉を支える人材の確保・育成
それぞれの役割を明確にし、無理なく協力できる体制づくり